

264th IBB Seminar

ウイルスや細菌の酵素に着目した創薬

講師：今野 翔助教

東京薬科大学 薬学部

薬品化学教室

(林良雄研究室)



日時：2024年1月23日(火) 15:00~16:30

会場：東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

第二会議室 22号館 (1階)

Abstract: ウイルスや細菌はヒトとは異なる生物種であるため、我々の想定外な特徴や機能を持つ酵素を有する。近年話題となっている SARS-CoV-2 の主要酵素である 3CL プロテアーゼは、ホモログなヒト由来酵素が存在しないことから有力な創薬標的となった。一方、シクロスポリンに代表される天然化合物は、細菌の有する特徴的な合成酵素によって生合成されるため、これらの酵素は有用な生体触媒とされている。演者は、これらヒトに存在しない酵素の理解・制御をめざして化学・生物学の両面からアプローチを展開してきた。本セミナーでは、演者と結びつきの深い SARS-CoV-2 の 3CL プロテアーゼを標的とした創薬研究について発表する。また、最近取り組んでいる天然化合物のペプチド環化酵素を利用した創薬候補環状ペプチドの創製研究についても併せて紹介する。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリー分野

亀井(内線 8036)、玉村

